

婚活で出逢う



6月はジュンブライドと呼ばれるように結婚する人が多い月の1つ。結婚に対する考え方が変わりつつあるなか、市や県では、人と人との出逢いを大切にしてもらい、その延長として結婚につながっていけばと、イベントなどを企画しています。

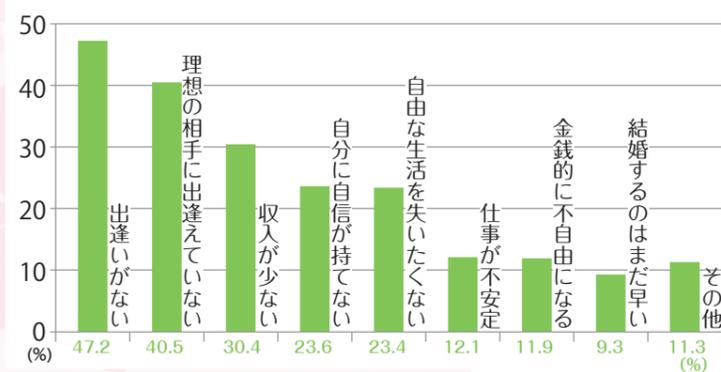
今回は「婚活」事情について紹介します。

およそ30年の間に生涯未婚率は、男性が20%、女性が10%に上がりました。

人生の選択肢が増え結婚を意識しない人が増えているだけでなく、結婚願望はあってもどうしたら良いか分からないという人も増えています。



三重県の生涯未婚率 (国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」より)



現在結婚していない理由 (三重県「第3回みえ県民意識調査(2013年度)」より)

生涯未婚率は35年で
男性 **10.7倍**
女性 **2.6倍**に。
理由は「出逢い」の機会が
少ないという人が多数。

いなべ市では…

2015年度の国勢調査によると、いなべ市では10年前と比較して、婚姻件数は特に変化がありません。しかし20～30代の未婚率が三重県全体より高くなっています。

	男性	女性
三重県	57.7%	46.1%
いなべ市	65.0%	49.4%

20～30代の未婚率 (「国勢調査」より)

未婚者の80%はいずれ結婚したいと考えていて、結婚したあとには男性はいなべ市内に、女性は近隣の市町に住みたいと考えている人が多いそうです。



いなべ市では婚活イベントを実施して、男女の出逢いの場を提供しています。市内で人気のカフェやレストランを会場に使用したり、ワークショップ型の催しを企画したりするなど工夫しています。

過去の実績 (2018年度)

CASUAL CAFE PARTY (9月9日)

場所：じゃすみん
参加人数：男性10人 女性9人
カップリング：3組

X'mas フレンチパーティ (12月9日)

場所：ピストロ シェスギ
参加人数：男性22人 女性17人
カップリング：7組

※2017年度は4回 2016年度は2回実施
釣り婚、バレンタインクッキング、スイーツパーティなど

担当者の想い



児童福祉課
橋元直也

伊藤秀明

伊藤「世代によって出逢いに対する考え方が違うので、若い年代が対象のときには参加型で楽しんでもらえるものを、結婚を視野に入れている世代には落ちついて話ができる環境を作るなど、参加者のためになるように工夫しています」

橋元「いなべ市をより好きになってもらえるよう市の特長を生かした企画を考えています。行政が主体となって行うイベントということで、安心感も魅力の一つだと思うので、出逢いのきっかけとして参加してもらいたいです」

カップルになったら

アフターフォローとして、カップルを対象とした相談会を開いています。今の悩みを聞いたり、これからどう進めていったら良いかアドバイスをしたり、何でも相談を受け付けています。

食事をしながら会話するなど、雰囲気が固くならないように心がけています。



結婚まで話が進んだら 申請できる補助があります！

2019年度いなべ市結婚新生活支援事業補助金

いなべ市で新生活をスタートする新婚世帯を応援するための制度です。

☎ 児童福祉課 ☎ 86-7821

●対象経費

住居費：新規の住宅取得費用または新たに物件を賃借する際に要した費用
引越し費用：引越し業者または運送業者に支払った費用

●補助金額 1夫婦あたり上限30万円

●申込期限 令和2年2月28日

※所得制限や婚姻届提出時の年齢など対象となる要件があります。

予算額に達した時点で受け付けを終了します。

期限までに全ての書類が必要です。





いなべ市で開催されたイベントを通して出逢った人のうち、結婚まで至ったカップルが去年初めて誕生しました。イベントに参加した感想や結婚までの経緯を伺いました。

夫
いなべ市出身。
工場に勤務して、
最初結婚願望は無し。

妻
岐阜県で生まれ育つ。
看護師として働き、
結婚を機にいなべへ。

Q. 婚活イベントに参加したきっかけ



夫

会社の先輩に誘われて参加しました。誘われるまで、イベントがあることを知りませんでした。

三重県に住む姉から教えてもらいました。後押しがあったので、参加してみようかなと思いました。



妻

Q. 婚活イベントにどのようなイメージを持っていた？



夫

昔でいうとお見合いみたいな感じで、堅苦しいイメージで興味がなかったです。

話をするのが苦手で、イベントに参加しても上手く話せるのか心配でした。



妻

Q. お互いの印象は？



夫

印象に残った女性の中で、一番話しやすいくて自分も自然に振る舞うことができる人だと思いました。

お互いに猫が好きだという共通点があったので、話が弾んだのを感じています。



妻

イベントに参加して良かったこと

夫「市の企画ということで、真剣に考えている人が多いのかなというイメージでした」
妻「男性がいなべ市在住で仕事をしている人だというのが分かっていたので、とても安心して参加できた」
夫「お互い住んでいる場所も違うし仕事も違うから、イベントに参加していなければ出逢うことがなかったと思います」

イベントでは連絡先を交換しました。その後、妻からお礼の連絡をしたことがきっかけで交際が発展。2週間に1回のペースでデートを重ねてきました。

婚活イベントを通しての出逢いだったことから、お互い結婚は意識していたようで、自然と結婚へと向かっていったそうです。

出逢いを探している人へ

夫「婚活イベントは誰とでも自然に話ができる人には必要ないかもしれないけど、話すことが苦手な人ならきっかけとして参加するべきだと思う」
妻「30代を目前に、このまま出逢いがなければ結婚はないのかなと思っていました。婚活イベントに参加したことがきっかけになり本当に良かったです。参加すれば何かきっかけがあると思います」

2018年12月に結婚式を行ない、2019年4月に長男が誕生した2人。結婚式の準備は大変だったと話していましたが、微笑ましい雰囲気の良い思い出になったことが感じられました。

イベントに参加しようと思う何気ない一歩を踏み出す気持ちと、相手と真剣に向き合おうと思う気持ちがお互いを結びつけたのではないのでしょうか。



2人が参加したスイーツパーティ。市内のスイーツを楽しみながら参加者同士が自由に会話を交わしました。最後には印象に残った相手を選び、カップルとなったらお互いに連絡先を交換しました。

みえ出逢いサポートセンター

「結婚を希望する人」が結婚できる地域づくりの実現に向けて、2014年度に開設されたのが「みえ出逢いサポートセンター」です。

結婚につながるような出逢いの場に関する情報を提供し、各種ワークショップや講座を開催しています。

みえ出逢いサポートセンターの取り組み

- ・安心安全な出逢いの情報提供
- ・結婚についてのさまざまな相談への対応
- ・企業や市町による出逢い支援（結婚支援）のサポート



四日市市にある
みえ出逢いサポートセンター



みえ出逢いサポートセンター
センター長
若林辰也さん

Q 県域のセンターの利点

お付き合いや結婚を考えたとき、イベントで知り合った人の住む所があまりにも遠いと現実的でなく話が進みません。女性の場合は親元から遠すぎることを想像すると、結婚に踏み切ることが出来ない人もいます。一方で近すぎると面識があったり、身の周りの人とつながっていたりして、気が進まない場合もあります。

みえ出逢いサポートセンターを通して、県と市町が連携することで、近いけれど地元すぎない人がイベントに参加し、今後につながる出逢いの場を提供できます。

Q 出逢いに向けての準備はありますか

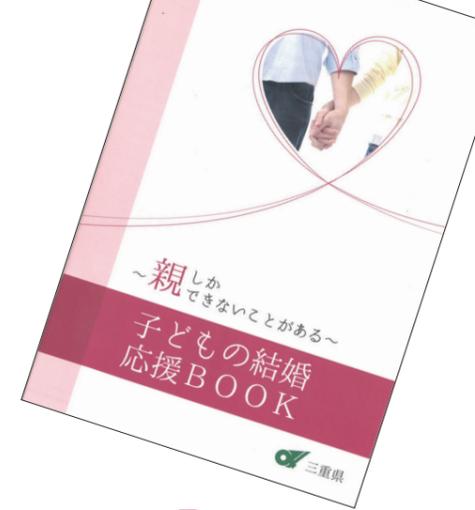
最近は個人のスキルを高めるセミナーも盛んになっています。美容院などが行う第一印象などの向上や、好意を持ってもらうための話し方講座など内容もさまざまです。

参加することで自分磨きができるだけでなく、自分と向き合う時間を持つことにつながります。気持ちに余裕が持てると、相手のことを考える余裕ができ、良い出逢いが生まれると思います。

結婚は本人だけのことではない

結婚の応援をできる一番身近な存在となる親。しかし、子どもの結婚が気になってついつい余計な言葉をかけてしまったり、何と声をかけたら良いか悩んで時間が経ってしまったりする人もいないでしょうか。

最近では親向けのセミナーや相談会も開かれています。息子や娘の結婚を後押しするためには、親が現代の結婚事情や若者事情を理解する必要もあるようです。



子どもの結婚にも影響する！？ 親の心構えと行動！



センターの担当者に聞きました！



みえ出逢いサポートセンター
コーディネーター
森角紗羅さん

みえ出逢いサポートセンター

住所：四日市市安島 1-3-31
ララスクエア 4階
営業時間：月～金曜 10:00～18:00

☎ 059-355-1322

Q 相談の多い悩みは？

親御さんからのご相談で多いのは「息子、娘が全然結婚する気がなくどうしたらいいか」、「息子、娘のためにしてあげられることは何か」です。結婚する気がないというのは、親御さんの思い込みである可能性もあります。今はインターネットなどを活用して婚活ができます。親に過度な期待や心配をかけたくないため、親に知られないよう活動しているという独身の人の声も多いですよ。

Q 子どもの結婚を応援するために大切なこと

親御さんは誰よりも息子、娘の幸せを願っていらっしゃるはずですが、多くの親御さんは「なぜ結婚して欲しいのか」を本人に伝えず、顔を合わせると「誰か良い人はいないのか」「早く結婚しろ」と詰め寄るばかり。これでは、親子関係もギクシャクしてしまいます。まずは恥ずかしがらず「結婚」についてお互いの思いをしっかりと話す機会を持つことが大切だと思います。

みえ出逢いサポートセンター センター会員登録手順



1 センターのホームページ中央にある「イベントに参加する方法はコチラ」をクリック

2 「センター会員登録はこちら」をクリック

3 必要事項を入力して登録ボタンをクリック

4 ③で入力したメールアドレスに「センター会員登録を受付ました」のメールが届き、URL をクリックして登録完了



<https://www.deai-mie.jp>

2019年度いなべ市結婚応援事業 「七夕バーベキューパーティ」

全国的にも人気のキャンプ場でアウトドア型の出逢いイベントを実施します。バーベキューの他に、アヒージョやスモアもあります。

いなべの自然の中でおいしい食事を楽しみながら出逢いを見つけませんか。

- 日時 7月7日(日) 10:45～14:30
- 場所 青川峡キャンプパーク



お気軽に参加ください

- 対象者 20～35歳程度の未婚者(男女各16人)
- 申込期限 6月27日(木)
- 申込方法 みえ出逢いサポートセンターのホームページから申し込み

このほか、9月ごろに結婚なんでも相談会を開催予定です。また年内をめどに、2019年度いなべ市結婚応援事業の2回目を実施します。

詳しくはお問い合わせください。

☎ 児童福祉課 ☎ 86-7821